

熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2023

ただひらゆき

黒毛和種種雄牛「忠平幸」の選抜



勝忠平
黒原3800

やすこ
黒2293933

平茂勝
黒原2441

うめ2
黒原788266

平茂晴
黒原3712

はつこ
黒原1341810

第20平茂
黒育134

忠福
黒育129

糸晴美
黒原2142

金幸
黒原2865

気高系

藤良系

栄光系

問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

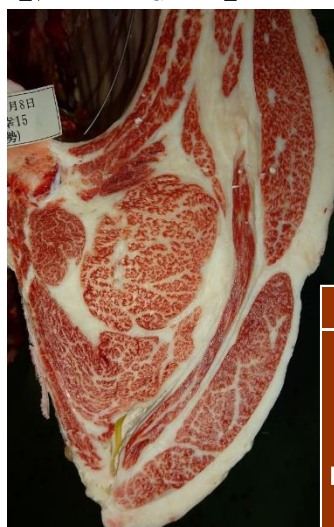
答 本牛は現場後代検定成績で、特に雌牛産子の成績に優れ、枝肉重量、ロース芯面積、ばらの厚さが508.5kg、68.5cm²、8.5cmとなり歴代最高の成績です。また、BMSNo.は全体平均で8.7と歴代トップクラスの成績であったことから、肉量、肉質の両面で改良への貢献が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位:kg、cm²、cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(4等級以上)
去勢 17 頭	28.5	506.3	62.3	7.6	2.2	74.3	8.8	94.1% (16/17)
雌 6 頭	28.6	508.5	68.5	8.5	2.8	75.1	8.2	100.0% (6/6)

【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	2.41
ロース芯面積	小さい							大きい	1.79
ばらの厚さ	薄い							厚い	1.09
皮下脂肪	厚い							薄い	0.47
脂肪交雑	少ない							多い	2.39

性別	去勢
枝重	527.7kg
ロース	73cm ²
ばら厚	6.8cm
BMSNo.	11
等級	A-5

標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。

畜産研究所 生産基礎技術研究室